

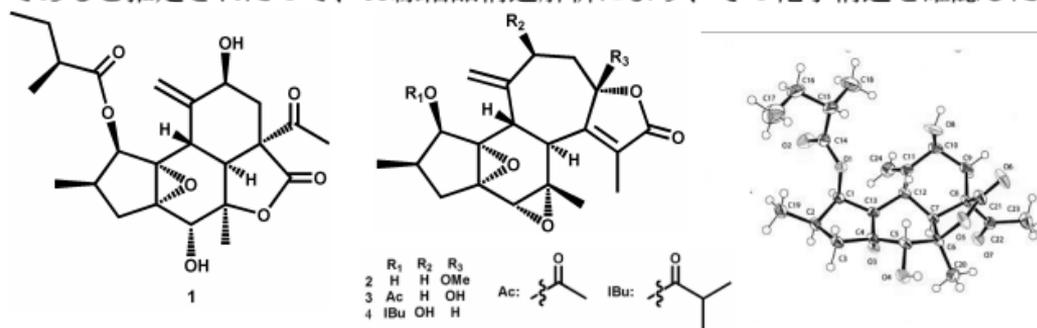
29TM-pm04

グミモドキ材部より得た新規骨格ノルジテルペン

○川上 晋¹, 松浪 勝義¹, 大塚 英昭¹, 武田 美雄², 川幡 正俊³, 山口 健太郎³
(¹広島大院医歯薬, ²安田女大薬, ³徳島文理大香川薬)

【目的】当研究室では天然物の基礎化学的研究の一環として沖縄県産植物グミモドキの成分研究を行っており、これまでに同植物の葉部および材部より新規ジテルペン類を単離しその化学構造を決定した。今回更に分離精製を進め下図に示す新規骨格を有するノルジテルペン **1** および新規ジテルペン **2-4** を単離、構造決定したので報告する。

【方法・結果】グミモドキの乾燥枝 14.5 kg をメタノールで抽出し常法に従い溶媒分配を行い、ジクロロメタン可溶画分 39.1 g を得た。続いて、この画分を各種カラムクロマトグラフィーを用いて分離、精製し化合物 **1-4** を得た。これら新規化合物はNMR等各種分析スペクトルを検討し、**1** においては新規骨格を有する構造であると推定されたので、X線結晶構造解析により、その化学構造を確認した。



図、新規ジテルペン類 **1-4** の構造および **1** の結晶構造